

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	中学校3年生・総合的な学習の時間 「地域の魅力を世界にPRしよう」
活用方法	地域の魅力を発信するという探究的な学習過程において、必要な情報を現地調査・インタビュー等、多様な方法で収集するとともに、友達やゲストティーチャーに迎えた地域の大人とのコミュニケーション活動を通して、収集した内容を整理・分析することで、より分かり易い英語表現を生かしたPR動画を作成することに繋がった。
成果等	生徒は友達と協力して情報収集や整理・分析を行い、PR動画を作成することで建設的な意見を出し合いながら、協働的に学習することができた。また、自分とは立場の異なる大人とのコミュニケーションを通して、地域活性化に向けて必要な事柄を再確認するとともに、分かり易く適切な英語表現を生かしたコミュニケーション能力を育成することができた。

※指導案や板書計画等は、次ページ以降に掲載しています。

1 単元名 「地域の魅力を世界にPRしよう」

2 単元の目標

地域の歴史や文化、産業、自然等の魅力を伝える学習を通して、地域の大人と接し地域活性化につながる活動をする中で、探究の過程や課題解決に応じた解決方法を協働的に身につけ、地域のよさを感じ取ったり、地域社会に貢献する喜びを実感したりして、自己の生き方を考えることができるようにする。

3 単元設定の理由

(1) 生徒の実態

省略

(2) 教材について

園小中一貫教育が目指すのは、将来子どもたちがたくましく生き抜く力を育てることを目的とした、学校と家庭や地域社会が協働しながら子どもたちを支える「地域総ぐるみ」の教育である。そして、その重点施策として挙げられているのが、「ふるさと教育」や「キャリア教育」の実践である。これは、総合的な学習の時間の目標(2)「実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。」ことと、(3)「探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。」ことに深く結びついている。

本単元は、総合的な学習の時間において小学校から続く「ふるさと学習」の集大成である。生徒は、これまでの学習で地域を知り、地域について学んできた。第3学年では、地域の大人と接する中で地域活性化につながる活動を取り入れていく。また、幼少期から英語教育を推進しているため、本単元のゴールとして、英語科「Our Project 8 世界にPRしよう」と関連させ、PR動画を英語で作成し、本校の外国の姉妹校に紹介したりホームページに掲載したりして、世界に向けて発信したいと考えている。

地域の魅力を発信する探究的な学習過程において、PRしたいことや地域の課題について考えを深めながら、情報収集や整理・分析を行い、PR動画を作成する中で、生徒一人一人が主体的に活動したり、仲間とともに協働的に学習したりする態度を育てたい。そして、地域と自己の生き方の関わりについて考える中で、社会力の育成を図りたい。

(3) 指導について

第1学年では、「地域を知ろう」というテーマをもとに「ふるさと学習」を実施した。地域の歴史や文化、産業、自然、観光、食、特産物等について、自ら課題を見付け、「私たちの地域」(小学校社会科副読本)や地域のパンフレット、インターネット等で情報収集や整理・分析を行い、タブレット端末を使ってポスターを作成した。学習のまとめとして、ポスター鑑賞会を開き、自分たちの住む地域について知ることができた。

第2学年では、地域にある事業所での職場体験学習を通して、地域の産業について学び、働くことについて考えた。体験終了後は、地域が提携している大学の学生から、プレゼンテーションソフトを使って自分たちの伝えたいことを相手にわかりやすく表現する工夫について学び、仲間と協働して資料を作成し、発表会を行った。

生徒は小学校から総合的な学習の時間で、地域のPRについては複数回経験してきている。そこで、本単元では、「ふるさと学習」の集大成として、地域の魅力を伝える動画を英語で作成し、世界に向けて発信したいと考えている。班ごとにPRしたい場所やものを検討し、現地に出向いて撮影

を行い、動画を作成する。そして本時では、行政の方や地域に携わる英語が堪能な方をゲストティーチャーとして招き、よりよいPR動画作成のための話し合い活動を行う。これまでに学習してきた国語科を中心とする各教科等における対話的な学習や英語科での学習を横断的・総合的に行うことを通して、よりよく課題を解決させたい。

本学習では、話し合い活動を通して、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめたり、互いの立場や考えの違いを認めつつ、納得できる結論を目指して建設的に意見を述べ合ったりしてコミュニケーション能力をつけさせたい。そして、地域の大人と一緒に地域活性化につながる活動を通して、自分たちの住む地域を誇りに思う心を育み、自己の生き方を考え、地域の発展に主体的に関わる生徒を育成することで、社会力の醸成を図りたい。

4 単元の系統

中学1年	中学2年	中学3年
地域を知ろう ・地域の歴史や文化、産業、自然等について調べ、ポスターを作成し、発信する。	職場体験を通して、職業について考えよう ・地域の産業について調べ、職業について考える。 ・地域での体験を通して、働くことについて考え、発表する。	地域の魅力を世界にPRしよう ・地域の歴史や文化、産業、自然等について、地域の魅力を英語で動画にまとめ、世界に発信する。

5 本単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住む地域の歴史や文化、産業、自然等には、魅力があることを理解できる。 地域の歴史や文化、産業、自然等の魅力をつかむために、目的に応じて情報を収集したりインタビューしたりできる。 英語によるPR動画を、相手にわかりやすく適切な表現を用いて作成できる。 自分たちの関わりが地域活性化につながるこの理解は、探究的に学習してきたことの成果であると気付く。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や文化、産業、自然等の中から課題を設定し、解決に必要な具体的な取組について、見通しをもって計画できる。 地域の大人が感じる地域の魅力や必要な情報を、相手を意識しながら多様な方法で収集できる。 収集した情報を、友達と協力したり地域の大人と一緒に活動したりする中で、内容を整理・分析し、次の活動に生かすことができる。 地域活性化につながる活動について、相手や目的に応じてまとめたり、わかりやすく適切な英語で表現したりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> PR動画をよりよいものにしようと繰り返し取り組み、地域の魅力を伝えることができる。 地域活性化につながる活動を通して、他者の考えを生かしながら、協働的に問題解決に取り組もうとする。 地域活性化のために自分たちにできることを考え、実行することを通して、積極的に社会に参画しようとする。

6 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①自分たちの住む地域の歴史や文化、産業、自然等には、魅力があることを理解している。</p> <p>②地域の歴史や文化、産業、自然等の魅力をつかむために、目的に応じて情報を収集したりインタビューしたりしている。</p> <p>③英語によるPR動画を、相手にわかりやすく適切な表現を用いて作成している。</p> <p>④自分たちの関わりが地域活性化につながることを理解は、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①地域の歴史や文化、産業、自然等の中から課題を設定し、解決に必要な具体的な取組について、見通しをもって計画している。</p> <p>②地域の大人が感じる地域の魅力や必要な情報を、相手を意識しながら多様な方法で収集している。</p> <p>③収集した情報を、友達と協力したり地域の大人と一緒に活動したりする中で、内容を整理・分析し、次の活動に生かすことができる。</p> <p>④地域活性化につながる活動について、相手や目的に応じてまとめたり、わかりやすく適切な英語で表現したりすることができる。</p>	<p>①PR動画をよりよいものにして繰り返し取り組み、地域の魅力を伝えようとしている。</p> <p>②地域活性化につながる活動を通して、他者の考えを生かしながら、協働的に問題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③地域活性化のために自分たちにできることを考え、実行することを通して、積極的に社会に参画しようとしている。</p>

7 指導と評価の計画（全20時間）

	小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
見いだす	1 地域の魅力について考えよう。（3）	・1、2年次に学習した「ふるさと学習」を振り返り、「地域の魅力を世界にPRしよう」という単元を通して課題意識をもち、解決に向けた今後の活動への見通しをもつ。	①	①		・発言 ・ワークシート
		・世界に発信したい地域の歴史や文化、産業、自然等の魅力について再認識し、課題を明確にする。			①	・発言 ・ワークシート
自分で取り組む	2 地域の魅力について情報を収集し、PR動画を作成しよう。（11）	・地域の歴史や文化、産業、自然等の魅力を伝えるために、実際にPRしたい場所を訪問し、情報を収集する。	②	②		・ワークシート ・行動観察
		・地域のPR動画を英語で作成する。 ----- ※英語科「Our Project 8」との関連（4）	③			・スライド ・原稿シート ・行動観察
広げ深める	3 地域の大人と地域の魅力について話し合い、よりよいPR動画を作成しよう。（3） （本時1／3）	・地域の大人（ゲストティーチャー）や仲間と一緒に地域の魅力について考えたり、適切でわかりやすい英語表現について話し合ったりする。		③		・スライド ・行動観察 ・発言
		・地域の大人や友達との話し合いから、PR動画について再考する。			②	・スライド ・原稿シート ・行動観察
まとめあげる	4 「ふるさと学習」を振り返り、これからの自己の生き方について考えよう。（3）	・再考して作成したPR動画を発表する。		④		・スライド ・行動観察 ・発言
		・「ふるさと学習」を通しての学びを振り返り、レポートを作成する。	④		③	・レポート

8 本時の指導

(1) 本時の目標

地域の大人や友達と一緒に地域の魅力について考えたり、適切でわかりやすい英語表現について話し合ったりして、よりよいPR動画を考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開 (15/20)

学習活動と内容	時配 形態	○教師の支援 ◇研究の視点との関連 ◎評価規準及び評価方法	教材 教具
1 学習課題を把握する。 ・2班で1グループとし、5グループに分かれて活動する。	2分 グループ 見いだす	○前時までの学習を振り返る。 ○本時のねらいを確認し、見通しをもたせる。	ホワイト ボード
学習課題 : よりよいPR動画を作成するには、どうすればよいだろうか。			
2 発表するときや聞くときのポイント、相互評価の視点について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【発表するとき・聞くときのポイント】 ・声の大きさやスピード、アイコンタクト等、聞き手を意識すること。 ・目と耳と心で聴くこと。 ・うなずきや反応を大切にすること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【相互評価の視点】 ・地域の魅力が伝わるか。 ・地域活性化につながるか。 ・適切でわかりやすい英語表現を用いているか。</div>	3分 グループ 自分で取り組む	◇国語科や英語科の授業を中心として学んでいる「発表するときや聞くときのポイント」を確認する。 ○本単元の目標やこれまでの学習過程から、PR動画作成で必要な評価の視点に気付かせる。 ○英語がわからなくても映像だけで地域の魅力が伝わることも大切だと気付かせる。	
3 班ごとに作成したPR動画の発表を行う。 (発表・評価4分×2班) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【魅力を伝えたい場所の例】 歴史民俗資料館、神社、寺、道の駅、産業、農園、森や川等の自然 他</div>	8分 班 自分で取り組む	○自分たちの班との共通点や相違点に着目しながら発表を聞くよう助言する。 ○発表中は聞くことに集中し、発表終了後に、ワークシートにメモをするように助言する。	大型テレビ タブレット 端末 ワークシート
4 よりよいPR動画作成に向けて、グループで話し合う。 (16分×2班) ・他の班のメンバーから気付いた点について伝える。 ・行政の方から、もっと伝えてほしい部分について何う。 ・英語が堪能な方(英語科の教職員等)から、英語表現についてアドバイスを受ける。	32分 グループ 広げ深める	○最初に他の班のメンバーから、相互評価の視点に沿って気付いたことを述べさせる。その際、批判的に伝えるのではなく、良い点やどのように改善すればよいのかについてアドバイスするよう助言する。 ◇ゲストティーチャーからアドバイスをいただく際、会話が一方通行にならないように問い返したり、自分の考えを伝えたりして、コミュニケーションが図れるように支援する。	ワークシート

<p>【予想される話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化、産業、自然について満遍なくPR内容が入っていたね。 ・インパクトがあって見る人の興味・関心をひく内容だったね。 ・〇〇について、こういうよさがあるから、それも盛り込んでほしいな。 ・地域活性化につなげるためには、実際に地域の役に立つ内容が入っているといいね。 ・もっとこういう英語で表現した方がわかりやすいよ。 		<ul style="list-style-type: none"> ○授業者とゲストティーチャーが同じ視点をもって指導・支援にあたるように、連携を図る。 ○時間を決めて、自由に交流させる。 ○話し合いで出た意見をホワイトボードに板書し、グループで共有できるようにする。 	
<p>5 課題解決に対する考えをまとめて、本時の振り返りをする。</p> <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を伝えたり、地域活性化につながる活動にしたりするためには、自分たちが感じた地域の魅力や行政の方が伝えてほしいことなどを動画に入れる必要がある。 	<p>5分 グループ まとめあげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いから、今後どのようにPR動画を改善していくのかを考えさせ、各班の代表者に発表させる。 ◎地域の大人や友達と一緒に地域の魅力について考えたり、適切でわかりやすい英語表現について話し合ったりして、よりよいPR動画を考えることができたか。 <p>【発表・発言・ワークシート】</p>	<p>ワークシート</p>

(3) 板書計画

<p>学習課題：よりよいPR動画を作成するには、どうすればよいだろうか。</p>	
<p>1 班の発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○良かった点 ○改善点 	<p>2 班の発表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○良かった点 ○改善点
<p>まとめ</p> <p>1 班</p>	<p>2 班</p>

(4) 会場図

